



生徒の皆さんへ

早いもので2月も今日で終わりです。本来ならば月初めに校長室だよりは発行しますが、3年生が来週に卒業を迎えるので急遽本日発行することにしました。残念ながら、コロナ禍が収まらない状況では三密回避のために在校生の卒業式への参加は見送ることにしました。それでも、本日の表彰式と卒業式予行には在校生も参加してもらいますので心からの拍手をお願いします。沖高生として立派になった3年生にみへでいろとエールを送ります。未来に幸運を！フレーフレー♪

はたして

「すべての道はローマに通ず」なのか

「すべての道はローマに通ず」とは、大ローマ帝国時代にヨーロッパの各地からローマに道路が通じていたことから、フランスの詩人ラ・フォンテーヌ（1621～1695年）が「寓話（ぐうわ）」で言った言葉である。

目的を達成するための手段や方法はいくつもあることのとえである。また、一つの真理はすべてのことに通用することのとえでもある。

確かに、目的を達成するためのやり方はいくつも存在する。たとえば、3年生は「幸せ」という目的を達成するための進路決定に向けてさまざまな努力を惜しまなかった。その努力たるや人それぞれであり、自分に合ったやり方を模索しながら時には悩み苦しむ、只ひたすらに頑張った。また、その頑張りには全てのことに通用するかもしれないし、少なくとも今後の人生にプラスになるはずである。言い換えれば、「幸せ」というローマをめざして進んだわけである。

しかし、ここで、ふと疑問が生じる。通ずるのはローマだけなのか。

「幸せ」のカタチは人それぞれである。ならば、ローマでなくても、鹿児島でも沖永良部でもいいのである。「すべての道は沖永良部に通ず」もありうるのである。したがって、正しくは「すべての道はあなたの想うところに通ず」なのかもしれない。なにもめざす場所は大都市である必要はなく、どんな小さな町でも構わないし、人それぞれに自分のめざす場所を見つけてほしい。

現在、ダイバシティ（多様性）とインクルージョン（共生）の時代といわれる。「ちがいを知り、ちがいを示す」つまり、お互いを理解し、多様性を尊重するからこそ、個々の人材が力を発揮できるといわれる。まさしく、皆が他人と一緒にローマをめざす必要はなく、各々がめざす場所を見つけ、周りもそれを理解する必要がある。もはや、この言葉がもてはやされた中世フランスとは時代が異なるのである。

ちなみに、この考えはいま話題のオリンピックパラリンピック東京2020大会の基本理念であり、この考え方が全世界共通となっているのは言うまでもない。



冲高40年前のインターハイ全国大会出場 女子バレーボール部 全国高校総体プラカード展示

この度、インターハイ監督である渡辺和夫先生から全国高校総体で使用された本校プラカードを寄贈頂きました。県大会で優勝を勝ち取り、見事全国大会に出場された先輩方に敬意を表します。現在の女子バレーボール部も県新人戦でベスト16に入るなど活躍しています。現キャプテンの前さんは「先輩に続くように頑張ります」と話してくれました。(プラカードを手にする前さんと盛山さんへ)

本校プラカードについては、校長室で大切に保管、展示させていただきます。本当にありがとうございました。



昭和55年度 全国高等学校総合体育大会 全日本バレーボール高等学校女子選手権大会

日 時：昭和55年8月1日～5日 場 所：香川県 丸亀市民体育館他
選 手：先間照美, 植村邑美枝, 末川とも子, 白川成子, 池田富士子, 藤田恵子, 伊東千代子
藤井和美, 山内十代美, 中みさお, 西田多紀代, 清水照代, 上野真由美, 勝間るり子
監 督：渡辺和夫 コーチ：植村太敬志 マネージャー：松元睦美 (全て敬称略)

大会プラカード

大会での様子



保護者の皆様へ

3年生保護者の皆様方、3年間にわたり、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき心から感謝申し上げます。1, 2年生保護者の皆様方におかれましてもあつという間に卒業の日が訪れます。学校としてもお子様がその日を迎えるまで職員一丸となって努力して参ります。今後とも御理解と御協力をお願い致します。

